さいたま市立大原中学校 学校だより
新しき光
校訓「歴史を拓く」 学校教育目標「はつらつとした生徒、地域に輝く学校」

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397 FAX 048-835-1357
WEB https://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

第１０号
令和８年２月２日発行

思いは言葉にして

校長　越智　宏明

新年の抱負を語った各部の部長たち。言葉の一つひとつに今年にかける決意がみなぎっていました！

　3学期の始業式、大原中学校では毎年、他の学校にはない独特の「恒例行事」が行われます。各部の部長が生徒たちの前に立ち、今年の抱負を筆でしたためた掛け軸にして発表するのです。今年は体育館が改修工事のためオンラインでの発表となりましたが、それでも各部長は力強く決意を述べてくれました。剣道部の「剣心一如」や吹奏楽部の「和奏響心」などのように部活の特徴をきれいに表している部もあれば、「無病息災」や、「不易流行」のように、その部の生徒でなければ分からない深い意味をもつ発表もありました。いずれにしてもそれぞれの決意の下、心を一つに活動に取り組んでほしいと思います。
　「有言実行」という言葉があるとおり、自らの思いを言葉にするというのは、とても大切なことだと思います。発した言葉によって自らに、善い意味でのプレッシャーをかけられるのと同時に、その言葉に共感する仲間を得られる可能性が生まれるからです。
　言葉は口に出して言ってみるものだな、とつくづく感じさせられた経験が私にはあります。今から3年前、前任校での体験です。その時勤務していた学校が開校70周年を迎えることになり、それに向けて何か記念の事業を行おうという話になりました。開校70周年記念実行委員会が組織され、どのような事業を行うか話合いがもたれたのですが、限られた予算の中で生徒の心に一生残るような取組はどのようにすれば可能か、議論はああでもないこうでもないと白熱していきました。その際、私が、あくまで例えばの話ですが…、と前置きをした上で、生徒全員で歌詞を考えてプロの方に作曲してもらい、第2校歌のような形で残せればよいというようなことですか？と質問をすると、あっという間に委員の方たちの間で、「それがいい！」という賛同の意見が広がり、70周年記念事業は「生徒全員で第2校歌を作る」という取組に決定してしまったのです。質問の中で例として出した案が採用されてしまうとは思ってもおらず、その後、私は大いに困惑することとなりました。第一にプロの作曲家など、私は一人も知りません。こうなったら、生徒に何を残したいかという自分の思いを率直に訴え、協力してくれる人を見付けるしかないと考え、音楽関係につながりのありそうな知り合いに片っ端から当たりました。その中で、ある方がこの話を、歌手の石井明美さんという方に通してくださったのです。石井さんは、1986年にテレビドラマ「男女7人夏物語（明石家さんまさんと大竹しのぶさんが主演でした）」の主題歌「CHA-CHA-CHA」を歌って大ヒットし、その年のレコード大賞新人賞も受賞した大変に有名な方です。私は、すぐに石井さんのもとを訪ね、学校の生徒の様子やなぜ第2校歌を作りたいと思ったか、その思いをとにかく無我夢中で訴えました。石井さんは、私の訴えに真剣に耳を傾けてくださったばかりか、驚くべきことに、「事務所の許可が出たらやらせていただきます」と快諾してくださったのです。そして、もう次の日には、石井さんから事務所の許可を取り付けたと連絡をいただきました。後で聞いた話によると、最初事務所からは「制作予算のケタが違う」「これでは確実に赤字になってしまう」と難色を示されたとか。そうした事務所の意見を石井さんは、「この仕事だけは、採算度外視で絶対にやりたい！」と押し切ってくれたそうです。それから石井さんは生徒たちにビデオメッセージを送ってくださったり、オンラインで生徒たちと意見交換を行ったりと、学校や生徒の様子を知ろうとしてくださいました。学校では生徒たちがそれぞれ「元気が出るフレーズ」を出し合い、生徒会でそれをまとめ、石井さんに送り…、そうしたやりとりを何度も重ね、世界に一つだけの第2校歌「You can do anything （あなたはなんでもできる）」が誕生しました。70周年記念式典当日、石井さんは、この曲を生徒と一緒に2回も熱唱してくださいました。私は、石井明美さんの器の大きさに感服すると同時に、自分の発した一言がこのような形で現実となったということに、言葉のもつ神秘の力を感じずにはいられませんでした。
　中国の文豪魯迅は、「思うに希望とは、もともとあるものともいえるし、ないものともいえない。それは地上の道のようなものである。もともと地上には道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだ」と言っています。自身の思い（希望）を心に留めるだけでなく、思い切って言葉にし、そしてそれに賛同する人が増えれば、その人の思いは実現に向け、大きく動き出すことでしょう。
　大原中学校の生徒たちの思いが、今年もたくさん実現するよう、願っています。